

1人1台端末 全小中学校へ配備



新型コロナウイルスの感染拡大で導入が急がれているオンライン授業の基盤となる「1人1台のタブレット端末」が9月末に各学校に納品されました。現在、インターネット環境の変更や初期設定の作業を急ピッチで進めています。各学校においては、全ての子どもたちがタブレット端末を使い、Microsoft Office 365 Teams を利用した双方向通信による連絡や学習の体験を行うなど取組を進めています。家庭におかれましては、再び学校が休校となる事態に備え、自宅でも学習ができるよう ICT 環境の整備についてご協力をお願いいたします。前回ご紹介した西脇市教育委員会 Youtube チャンネルやホームページで更新している西脇市学習支援サイト等を家庭でも活用していただき、子どもたちの学びを応援していただくようお願いいたします。今回の学校教育課だよりでは、保護者の皆さまや地域の方から寄せられたご質問を下記 Q&A でご紹介いたします。

Q1：解説動画は先生方にも見てほしい動画に仕上がっている。シナリオがよくできていて驚いたが、どのように制作されたのか。

A：教科によって差はありますが、全国学力・学習状況調査の問題を基に、子どもたちに伝えたい指導内容や解き方のコツ等の教材研究を進め、伝えたいことを焦点化し動画を制作しています。動画を視聴した子どもたちが、「そんな風に解いたら自分も解けそうだ」「コツを使って解いてみようかな」と思うきっかけになって欲しいと願っています。



[西脇市教育委員会 Youtube チャンネル](#)

Q2：解説動画の対象は、中学校3年生と小学校6年生であるが、その他の学年への指導や手立てはどのように進められているのか？

A：西脇市のホームページで、小学校1年生から中学校3年生までの学習支援サイトを作成しています。各学年の学習支援サイトにアクセスすれば、教科、単元ごとに動画や学習コンテンツを視聴することができます。この学習支援サイトには、NHK や各教科書会社が作成している学習動画や調べ学習に役立つホームページなどを紹介しています。既存のものとオリジナルのものを活用して、学習支援サイトを随時更新していきます。また、ドリル学習がインターネット上でできる家庭学習サポートサービス（ラインズeライブラリアドバンス）もあります。



[ラインズeライブラリアドバンス](#)

Q3：1人1台端末を利用した学習や活動は、いつから始まるのか。

A：タブレット端末は各小中学校に9月末に納品されました。今後、設定作業を進め、順次利用が可能となります。12月中旬には、全ての学校で設定作業が終わる予定です。また、その準備として、市内小中学校の全学級において、Microsoft Office 365 Teams を利用した双方向通信にも取り組んでいます。

Q4：小学校においては発達の違いが大きいと思うが、小学校1年生から端末を使っていくのか？各学年によって使い方の違いはあるのか？

A：小学校1年生もタブレット端末を活用できるように取組を進めていきたいと考えています。授業における具体的な活用については、小学校における学級担任連絡会等（中学校においては教科担当者会）で検討いただき、子どもたちがまず「慣れる」ことから取組を進めていきたいと考えています。授業における対面指導とタブレット端末の利用を組み合わせ、指導を充実させていきます。

Q5：端末を家に持ち帰り、学習を進めることについて教えてほしい。

A：まずは、学校での活用について研究を進めていきたいと考えています。いずれ、家に持ち帰って家庭学習ができるように取組を進めていきます。現在は、Wi-Fi 環境の無いご家庭へモバイルルーターの貸出を行い、ご家庭におけるICT環境の整備を進めていただいているところです。

Q6：モバイルルーターを使って、インターネットに接続するにはどうしたらよいか？

A：貸出予定のタブレット端末をインターネットに接続するには、SIMカードを購入いただき、通信費をご負担いただく必要があります。SIMカード購入の目安として、10GBで税込み2,700円（利用開始から180日間有効）等のカードが販売されています。学習動画の視聴は、通信量が大きくなるので、可能であれば、通信量無制限の環境を整備いただきたいと思います。

Q7：端末を貸し与えれば、インターネットにも繋がることになるが、有害サイトへアクセスできなくするような手段はあるのか？

A：ウェブやアプリケーションを通じて悪影響を及ぼす有害な情報やトラブルから守るためにフィルタリングを設定しています。今後、「写真をSNSにアップしない」「カメラで誰かを撮影するときは、許可をもらう」等の活用のルールを設定していくことを考えています。

Q8：タブレット端末の活用について、モデルとなるような取組をされている自治体等はあるのか？



A：滋賀県草津市では、GIGAスクール構想以前から、タブレット端末を導入し、先進的に取組を進められています。子どもたちの机の中には、常にタブレット端末が入っており、子どもたち自身が調べたいときに使ったり、必要に応じて使ったりと、文房具のような使い方をしていきます。佐賀県では、考えたり話し合ったりする学習に十分な時間をとるために、家庭で自分の意見をまとめてくるような家庭学習に取り組まれています。このような先進的な取組を参考に、西脇市の全ての子どもたちがタブレット端末を活用できる授業や取組の研究を進めていきます。